

あしたか 県政報告

発行元

あしたか清友事務所

奈良県香芝市烟四丁目103番地

090-5065-8281

ashitaka-kiyotomo.com

令和6年
新春号

一般質問 / 公式HP /



新しい年のスタート! 奈良県議会議員選挙に初当選させていただきました。早くも9ヶ月が経ちました。

引き続き、初心を忘れず、誠心誠意取り組んでまいります。

経歴 昭和53(1978)年12月 香芝生まれ

- ハルナ保育園(園児)
- 二上小学校(スポーツ少年団少年野球)
- 香芝西中学校(野球部主将)
- 奈良県立橿原高等学校(応援団団長)
- 四天王寺大学文学部社会学科(高等学校教諭一種免許(公民)取得)
- 大阪市立大学大学院都市経営研究科(修士)
- 平成29(2017)年 香芝市議会議員選挙 初当選
- 令和3(2021)年 香芝市議会議員選挙 当選2回目
- 令和5(2023)年 奈良県議会議員選挙 初当選



□建設委員会

〈道路・河川・水道・下水道等〉

□少子化対策・女性の活躍促進・ スポーツ振興対策特別委員会 副委員長

□関西広域連合議会議員(理事)

家族

- 妻、長男(中1)、長女(小5)、次女(小3)



奈良新聞の
一面で取り上げて
いたきました

あしたか清友の
一般質問が

県政から
香芝の未来を

奈良県議会議員

きよとも
清友

9月議会 一般質問

令和5年9月議会では、初めて一般質問を行いました。その様子は奈良テレビ放送で放送され、大きな反響をいただきました。
それでは、一般質問の内容について報告させていただきます。

- 1 山下知事の行政運営における説明責任について
- 2 県域水道一体化について
- 3 スポーツ施設の整備について
- 4 教員の未配置への対策について

の4項目を質問し、市町村と奈良県の連携強化を求めました。

令和5年9月議会

一般質問

1 山下知事の行政運営における説明責任について

「奈良新「都」づくり戦略2023」には、「県政発展の目標と道筋」として、9の都、29の政策、104の施策が示されています。それに関連する予算は、県庁内で議論されたものを奈良県議会に予算案として上程し、議会が議決したものです。組織編成もそれらを踏まえて行われています。予算執行を停止し、改めるのであれば新たなビジョンを示す必要があり、具体には、政策(ポリシー)・施策(プログラム)・事務事業(プロジェクト)の政策体系を改めて示

し、改めた事業の目的や目的達成のための手段を県民や関係する市町村に説明する必要があると考えます。また、これまで公表されていなかった事務事業の評価についても公表を求めました。山下知事からは「新規事業は新年度予算に盛り込みたい」と答弁。また、事務事業評価の公表についても「今後、公開ていきたい」との答弁がありました。来年度当初予算案が提出される2月議会に向けてしっかり準備していきます。

条例・計画に基づいて政策体系があり、事業に予算が計上され、それらを実施する組織がある。予算執行を停止するならば、これらを改めて体系的に示すべきと考えます。



県域水道一体化について



奈良県の水道一体化を目指す背景

- 給水人口の減少に伴い有収水量が減少
- 法定耐用年数である40年以上経った水道管路の割合が全国平均より高い
- 水道関係人員の減少により技術の継承が懸念

国においても、人口減少に伴う水需要の減少、水道施設の老朽化、人材不足等、水道の基盤強化を図るために水道法が一部改正（平成30年改正、令和元年施行）

これらの課題を解決するため、奈良県では長きに渡り協議会や検討会で水道一体化に向けて協議検討を進めてきましたが、山下知事は「令和7年4月からの事業統合」や「統合当初からの料金統一」という基本的事項、また「料金水準の試算」について、7月21日の法定協議会において疑問を呈されました。奈良県内、香芝市を含む26市町村に係る事業であり、基本的事項を前提で各議会の議決を経て進めているものです。これまでの背景や経緯を理解

されていないのではないかと考え質問しました。

山下知事からは、「基本的な枠組みを大きく変えることはない」

との答弁。答弁に一安心ましたが、大きな混乱を招いたと考えます。皆様の生活に直接関わる水道について、これからも丁寧に議論してまいります。



スポーツ施設の整備について

奈良県のスポーツ施設は昭和59年のわくわく大体に向けて整備されたものがほとんどで、老朽化が進んでいます。8月21日に少子化対策・女性の活躍促進・スポーツ振興対策特別委員会の副委員長として、奈良市鴻池陸上競技場、県立橿原公苑の陸上競技場、第1体育館、野球場の視察を行いました。屋根の劣化による雨漏り、床の強度不足、段差の解消、和式トイレの洋式化、多目的トイレへの改修、車椅子席の設置など利用者に直接影響が出るような施設の劣化に驚きました。令和13年に、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の奈良県での開催を契機としてスポーツ施設の整備が必要と考え質問しました。

山下知事からは、「新設するのではなく、既存施設の改修」「橿原公苑内の各施設については、現状把握や課題整理を行い、改修などの具体的な検討をすすめている」と答弁。この案件は、山下知事就任後うんぬん、と言うよりも、今まで一体何をやっていたのか。これまでの奈良県のスポーツ施設の整備がほったらかしかったと言わざるを得ません。

一般質問後の予算審査特別委員会で改修だけでなく新設も含めて検討することを要望しました。

香芝市ではバレーボール会場が第1次選定されました！



教員の未配置への対策について

教員の産休や育休、病休等により、急な欠員が生じた際に、替わりの教員が見つからず、教員が未配置となっているケースがあります。教員全体で業務を分担することが必要となるため、実際には少人数指導の加配教員の枠を学級担任に充てることで学級担任は確保できるものの、少人数指導を止めなければならない状況や、教頭先生や校長先生が教壇に立たなければならぬ状況もあります。今年度、9月1日時点では、小学校が39件（香芝市7件）、中学校が10件（香芝市2件）、義務教育学校1件、高等学校1件、特別支援学校3件で合計54件の未配置の実態があります。教育委員会や学校においては、未配置の解消に向け退職教員の活用等、あらゆる手段を尽くしていただいているますが、教員の未配置への抜本的な解消につなげるための対策を質問しました。

教育長からは、「主な原因是、代替の常勤講師の絶対数が不足していることにある。市町村教員委員会からは、授業のみを指導する非常勤講師ならば確保できるとの声もあり、今後、

代替の非常勤講師を任用することを検討している。」「来年度からの取り組みとして、退職教員を副担任として週3日短時間再任用することで少人数指導などを担当する学習指導員の配置を推進する。」「この10月からLINE公式アカウントで退職教員のネットワーク作りを開始する予定。（実施済）」「教員不足を抜本的に解消するため、奈良県教育を支える教員を高校2年生から6年間養成する次世代教員養成塾も6年目を迎える。今年度1期生が採用試験を受け11人が合格している。さらに教員業務支援員などの配置により、教員の働き方改革を推進し、学校現場の環境をより良くすることを通して、教員の志願者そのものを増やすまいります。」と課題解決に向けて対応するとの答弁がありました。

さらに、一般質問後の予算審査特別委員会であらためて、学校や教員への支援が子ども達への支援に繋がることを伝えた上で、教員業務支援員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置拡充を要望しました。



日々、誠心誠意活動しております！



初めての奈良県議会での一般質問は大変緊張しましたが、奈良県の行政運営における説明が県民や県内市町村に不足していることを直ちに改善していただきたいという思いで行いました。奈良県の未来を皆様とともに創ってまいります。



ご好評のあしたかレポート定期的に発行しております！

Vol.11 8月発行
1万部配布

Vol.11 年末年始号
改定
5,000部配布



県政に対するあなたの意見・ご要望などお聞かせください

